ニュースレター　万全の防水工事

# 日本外装NEWS

2026年 10月 vol.16

発行：日本外装株式会社／〒216-0031神奈川県川崎市宮前区神木本町1-9-17　TEL 0120-773-007

## 私たちにしかできないことを目指して

## 今年の秋は「暖秋」…寒暖差に注意

10月も半ばに差し掛かり、秋もこれからいよいよ本番を迎えます。今年は暖かい日が続く「暖秋」となっており、日中には季節外れの暑さを感じる日もあります。一方で、朝夕は秋らしい冷え込みとなり、寒暖差の大きさに体温調節の難しさを感じる季節でもあります。夏の間、弊社の職人さんたちは空調服を着て、暑さの厳しい現場で汗を流していました。それが今ではすっかり衣替えも済み、長袖の作業着で仕事をしています。しかし、10月になっても日中は予想外に気温が上がる日があり、服装に悩む日もあるようです。特に屋外での作業では、同じ気温でも日差しの有無や風の強さ、作業内容によって体感温度が大きく変わります。朝は肌寒くても、動きながら作業をしていると汗ばむこともあり、職人さんたちもその日の天候や現場の状況を見ながら、服装を調整しています。朝晩の冷え込みと日中の暖かさ、現場での作業量などを考えながら、その日の気温に合わせて調整することも、安全に仕事をするうえでは大切なことです。季節の変わり目で風邪なども流行しやすい時期でもありますので、私たちも体調管理を怠らず、日々の仕事に丁寧に取り組み、皆さまの大切な建物を守る仕事に邁進してまいります。



今年の秋は雨の毎日で幕開けでした。前日の予報に反して降る日も多く、天気予報アプリの雨雲レーダーが重宝しました。

外装ノート

## タイル外壁防水の工程をご紹介！

防水工事と言えば、すぐに思いつくのは屋上やバルコニーだと思います。タイル外壁の場合はどのように防水工事を行うのでしょうか。この記事ではタイル外壁の防水工事の工程をご紹介いたします。

### 1.シーリング処理


目地のシーリングの打ち替えを行います。既存シーリング材を撤去、新たにシーリング材を充填・均します。

### 2.タイル補修


劣化・欠損しているタイルや、浮きの発生しているタイルを補修、または撤去・交換します。

### 3.洗浄


高圧洗浄機や、専用の薬剤などでタイル面の汚れやエフロ(白い汚れが出る現象)をきれいにします。

### 4.プライマー塗布


透明塗膜防水材専用のプライマー(下塗り材)を塗布します。プライマーを塗布することで、主材が強固に接着します。

### 5.主材塗布


防水材の主材を塗布します。透明なので、塗りムラや塗り残しに注意して塗ります。膜厚が規定値に達するまで積層塗りします。

### 6.トップコート塗布


専用のトップコートを塗布します。今回使用した材料は光沢にバリエーションがあり、本工事では半艶を選定しました。

### 7.施工完了！



きれいに仕上がりました。タイル外壁に塗膜防水を施すことは、雨水浸入防止はもちろん、タイルの剥落予防にも寄与します。

### 今回使用した材料


大日化成：スカイコートW
水系で危険物を一切含まず、中毒や引火リスクの無い、環境にやさしい材料。

# 現場風景

最近の現場のようす、作業の内容をお伝えします

## 港北区　個人宅

横浜市港北区の以前防水工事をさせていただいたお客さまからの、アフター工事のご依頼でした。激しい風雨の時に2F居室内に雨漏りが発生するということで、早速現地調査をさせていただきました。どうやら屋根上に設けられたドーマー周りから雨水が浸入している可能性が高そうです。ドーマーとは、屋根から突き出すように、地面に対して垂直に取り付けられた窓のことです(画像①)。ドーマー周りにシーリング処理を施し、雨水の浸入を防ぎます(画像②)。これで雨漏り補修工事は完了ですが、今回は棟板金改修工事の二本立てです。現地調査で屋根に上った際、ドーマー上の棟板金の下地が劣化して取れかかっており、危険な状態でした。棟板金の下地は貫板と呼ばれる木下地となっており、この貫板が腐朽してくると棟板金を留める釘の利きが悪くなり、剥落の危険性が高まります。オーナー様に状況をご説明し、棟板金改修工事も併せて行うこととなりました。既存の棟板金を撤去、腐朽している貫板を確認しました(画像③)。これを撤去し、貫板を新設します(画像④)。貫板設置後、新しい棟板金を棟に当て、棟の長さ・形状に合わせて板金を加工し、取り付けていきます(画像⑤)。防水の観点から、板金の継ぎ目やジョイント部にはもちろん、しっかりとシーリング処理を施します。これで施工完了です(画像⑥)。これで、台風などの激しい風雨の際も、棟板金が飛ばされる心配はありません。普段から家のメンテナンスを意識されているオーナー様も、屋根の上の状況はご自身ではなかなか確認し難いところだと思います。ご自宅の屋根の上の状況が気になる方は、是非とも日本外装までご相談ください。














## 神奈川区　賃貸マンション

十数年前に総合改修工事を行ったこちらのマンション、この度改めてご依頼があり、再び総合改修工事を行わせていただきました。その一連の施工の中から、この記事ではモルタル庇の改修工事の様子をピックアップしてお伝えします。マンション各居室の窓上に設けられたモルタル庇が経年劣化し、ボロボロと崩れて破片が落下しているという状況でした（画像①）。まずは、破片の落下・粉塵の飛散対策を念入りに行なった上で、既存庇の撤去作業を行います（画像②）。撤去後、モルタルの食いつきを強化するために吸水調整材を塗布し、モルタルを塗ります（画像③）。モルタルは三層重ね塗りとしました。モルタル下地が完成したので、次は塗装工程に移ります。弾性塗料を砂骨ローラーで膜厚をつけて塗ります（画像④）。その後、仕上げにシリコン塗料で上塗りを行いました。(次頁へ続く)





(前頁の続き)こちらのマンションの特徴でもある茶系のタイル外壁と違和感が生まれないよう、近似色を調色して塗装しました。塗装の後はいよいよ新しい庇の取り付けです。既存の庇はモルタル製でしたが、今回はアルミ製庇を選定し、取り付けることとなりました。施工面に穿孔し、庇支持金具を取り付けます（画像⑥）。新しい庇を取り付け、接合部にシーリング処理を施します（画像⑦）。施工中に付着した汚れを拭き取り、施工完了です（画像⑧）。アルミ製庇のシャープなデザインも相まって、かなりスッキリした印象になりました。モルタル庇の重厚感も格好良いですが、アルミ庇はモルタル庇に比べて非常に軽量で、耐候性も高く、コスト面でも財布に優しいのが特長です。また、軽量であることは建物への負担を抑えるという点でもメリットがあります。モルタル庇は重々しい堂々としたデザイン性が特長ですが、反面、今回のように経年劣化でひび割れ・剥離が起こるデメリットがあります。庇の経年劣化による改修工事や、庇の新規設置工事をご検討されている方は、日本外装にご相談いただければ、お好みに合わせてご提案いたします。



















## 神奈川区　テナントビル













こちらも改修工事のご依頼でしたが、その一環として、1Fテナントのエントランスに設置されているテントの交換工事を行いました。既存のテントは経年劣化が進んでおり、手で触れると表面がポロポロと剥がれてしまうような状態でした（画像①）。既存のテントを撤去すると、テントのスチール骨組みが露出します。長年にわたって雨風にさらされてきたことで、スチール骨組み全体に錆が付着し、部分によってはかなり腐食が進んでいました。まずはケレン清掃を行い、可能な限り錆を落としていきます。腐食がひどい箇所については部分撤去を行い、欠損箇所を溶接によって補修しました（画像②）。その後、錆止め塗装を施してから、セラミックウレタン塗料で上塗りを行います。テントは生地を交換すれば終わり、というわけではなく、長年使用した骨組みの状態もしっかり確認することが大切です。こうして骨組みを整えたら、いよいよ新しいテントを張っていきます。壁際の端部をホックで留め、テンションをかけながら張っていきます(画像③)。ピンと張った状態を保ちながら、内側からスチール骨組みに結束していき、設置完了です(画像④)。施工前の画像①と施工後の画像④を比べると、パリッと綺麗な新しいテントになったことで、建物全体の印象もかなり明るくなりました。軒先のテントは建物の入口という目立つ場所にあるため、汚れや色あせ、破れなどがあると、それだけで建物全体が古びた印象に見えてしまうことがあります。反対に、テントが綺麗になるだけでも、エントランス周辺が明るくなります。軒先のテント交換がご入用の際は、テントだけでなく骨組みの状態も含めて、ぜひ一度ご相談ください！

# 悪質な詐欺業者にご用心



## 増加傾向にある詐欺被害件数

たびたびニュースレターで取り上げている、外装業者を装った詐欺の被害は後を絶たず、増加の一途を辿っています。警視庁によると、2025年に摘発されたリフォーム詐欺の件数は83件(前年比17件増)、被害総額はなんと約150億円(前年の約3倍)とのことです。引き続き、アポイント無しで訪問してくる外装業者には細心の注意を払い、安易に家にあげたり屋根に上らせることのないよう、お願い申し上げます。

## 編集後記

いつもニュースレターを読んでくださっている皆さまは先刻ご承知かと思いますが、わたくしには息子が二人おります。兄はこの11月で8歳の小学2年生、弟は年明けに4歳になる幼稚園年少です。両親としては、特に分け隔てることなく、ただただ良心に従って同じように育てているつもりなのですが、面白いもので、この二人はまったく違う性格をしています。カッコ良く例えるとしたら、まるで月と太陽のようです。弟は太陽で、少々ウエットな性格をしているわたくしの子とは思えないほど、明るく活発なキャラクターです。家の中にいる時でさえもドタドタとリビングを走り回り、大声で何かしらの歌を唄っています(最近は『忍たま乱太郎』のOPテーマがお気に入りのようです)。冷房の効いた室内なのに、ふと見ると髪の毛が汗でペタペタになっています。常にそのような状況なので、こちらもボーっとしていると、いきなり突進してきて思いがけず強烈なチャージングを喰らうことがあります。一方の兄は月。外遊びも好きですが、特に博物館や水族館が大好きで、家では『どうぶつ奇想天外!』のYouTubeや、図鑑を眺めてゆっくり過ごすのが至福の時のようです。まさしく「みんな違ってみんないい」のですが、ただこの二人、寝ても覚めても喧嘩ばかりしています。わたくしたち両親も、喧嘩の仲裁に日々追われることとなり、つい声を荒らげてしまうこともしばしばです。わたくしの好きな歌手・ハンバートハンバートの歌に『がんばれ兄ちゃん』という歌があり、聴くたびにまるで彼らのようだなと思っています。一部ご紹介させてください。「ケンカをすれば 俺のが強い 今日も泣いてた お兄ちゃん 虫のことだけ やけに詳しい 俺のお兄ちゃん ああ兄ちゃん でもかっこいい かっこいいな ああそんなふうになりたいな ああ兄ちゃん ほら泣かないで 男だろう ああ俺が守ってあげる」真逆とも言える性格の違いゆえに、今は喧嘩の絶えない二人ですが、いつかお互いの良さを認め、リスペクトし合えるような兄弟になってほしいと思います。そんな二人も365日休まずいがみ合っているわけではなく、まれに「休戦」となることがあります。極論、「仲良くするかどうかは本人たちが決めること」ですが、たまに肩を寄せ合って楽しそうにしている二人を見ると、いつも仲良くいてほしいと思ってしまうのが親心なのでしょう。喧嘩の仲裁に明け暮れる日々も、いつか懐かしく思える日が来るのを願ってやみません。



**編集者プロフィール**
大沼和正　入社6年目　主に現場管理とニュースレターの刊行を担当



焼肉屋にて。大人が食べ終わるのを待っています。喧嘩していたかと思えば、いきなりベタベタし出したりします


日本外装株式会社
外装リフォームのプロフェッショナル集団
神奈川県川崎市宮前区神木本町 1-9-17
9:00 ～ 20:00 ／ 土・日・祝も営業
0120-773-007


**日本外装公式SNS**
【X】 【Instagram】 【Youtube】

**日本外装公式サイト**
防水工事・塗装工事・総合改修工事・雨漏り調査＆補修をご検討されている方、右のQRコードからどうぞ！

**Youtubeで工事の様子がチェックできます！**
日本外装では工事の様子の一部をYoutubeで紹介しております。
ぜひ、チャンネル登録お願いします！

**ニュースレター第16号アンケートのお願い**
皆様のご意見をお聞かせください。
今後の編集に活かしてまいりますので、ご協力いただけますと幸いです。